

Windows CE について (2)

Windows CEマシンを購入し2週間が経過しました。今回の特集もこの購入を機に書いてみようとしたものですが、実際にはWindows CEの情報が余り残っていない(雑誌に資料はあったのですが廃棄したものか余り残っていません。1つには当社がWindows CE機を出していないためかもしれませんが・・・)ため、内容が続かなくなりました。そこで、実際の使い心地や含まれているアプリケーションについてまとめてみます。

購入したマシンはMobile Geor IIのR320で、7.3インチのモノクロ液晶の640×240ドット表示、メモリ16MBです。ほかには、カラー液晶のものやVGA表示のものなどノートパソコンと同じようなものも有ったのですが、購入目的が携帯用情報端末で、住所録やスケジュール管理などこれまでA1note(CANON)やザウルスなどの情報端末の延長線上にあり、電源ONですぐに立ち上がるものがほしかったのです(最後のWizはしばらく使うとメモリが少なくなっただいぶ時間がかかるようになっていたものですから)。普通なら自社のAMITYになるのですが、Windows 95であるAMITYはたちあげに1~2分はかかるためと、電池が1時間程度しか持たないため購入にはならなかったのです。それと、モノクロを選択したのは、この機械でカラーの必要性が無かったのと、モノクロの場合25時間(単三電池2本)バッテリーが持つためです。

現在Windows CEのバージョンは2.11で、最新バージョンとしてこの2月に2.11をベースとしたWindows CE Handheld PC Professional Edition, version 3.0が発表されています。このH/PC Proソフトウェアは、リモートアクセス機能や企業データへのアクセス能力に加え、Windowsとの親和性をいっそう向上し、VGAやSVGAへの対応、USBインターフェースの搭載やポインティングデバイスも利用可能となっています。標準のアプリケーションとしてはPocket版のOutlook、Word、Excel、Powerpointの他にデータベース機能サポートとしてPocket Access、インターネットとしてPocket Internet Explorerが搭載されています。もちろん日本語入力としてはIME 98 for Windows CEが搭載されていますので、普通のパソコンと同様の日本語入力ができます。

Windows CEは発表当初に比べてだんだん高機能になり、これまでは簡単なデータ管理用のマシンとしてしか考えられていませんでしたが、メモリの大容量化、画面のSVGA化、カラー化などが進むことによって今後はモバイルツールの主役になってくると考えられます。これまではザウルスが能力不足でWin95のB5ノートでしたが、これからはいろいろな面でWindows CEではないでしょうか。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 7月12日号

特集 まず「トイ」より始めよ

→「AIBO」や「ファービー」が発売され、この種の製品がいろいろ発売されている。これらの「おもちゃ」は近い将来認識機能を強化し魅力ある情報機器へ進化していく。白物家電、AV機器、パソコンの次に行くことはこれかもしれない。

解説 CDMAの勢いは止まらず、次の成長市場は中国に

→デジタル携帯電話の一方式のCDMAが急成長し、インターネットとの融合が進み、地域としては中国がターゲットとなっている。

○日経パソコン 7月12日号

特集 周辺機器の落とし穴

→最新の周辺機器にはいろいろなトラブルが発生している。これまでのようにユーザの手で直すこともできたものから手におえないものまで多種多様だが、注意点を押さえることで未然に回避することもできる。

短期集中講座 ファイルとフォルダーの基礎知識

→ファイルとフォルダーの再点検。拡張子とちょっといい使い方を2回に分けて連載。

○日経オープンシステム 7月号

特集 情報システム部、21世紀への羅針盤

→これまでの情報システム部門はビジネスをサポートする部門であったが、これからはビジネスに直結した戦略的部門へと変貌しつつある。

特集 WWW+Javaのトラブル回避

→WWWとJavaを組合せてシステム構築をする動きが活発となっている。簡単にユーザー数を拡大することができるからだが、すべてうまくいくわけではない。事例を基に課題とその解決方法を紹介。

解説 パソコン減税はLAN環境にも接続できる

→LAN接続されたものでもLAN全体ではなく接続機器個々に対してパソコン減税が適用される。

○日経ネットビジネス 8月号

特集 ネットで伸びる日本の「e-企業」

→日本のネットビジネスが変革期を迎えている。米国を追うかのようにネットビジネスへの参入が相次ぎ、特に、金融業界、書店販売業界、パソコン業界などこれまでの支店網と営業部員が逆にコスト要員として負担になりつつある。ビジネスはネット上でほとんどがすむ状況になりつつある。

○PCWORLD 8月号

特集 この夏はフラットベッドスキャナをゲットしよう

→デジタルカメラが注目されているが、スキャナも進化している。36

ビット入出力、USB接続など。安くなって使えるようになったスキャナの特集。

特集 徹底検証!! 15インチTFTディスプレイ大全

→省スペース、低消費電力のTFTディスプレイ。これまでは14インチが主流だったが17インチのCRT相当の15インチがこれからの主流となる。

○DOS/V magazine 8月1日号

特集 FSB133MHz時代のメモリ学

→CPUの性能向上に比べてメモリの性能が相対的に悪化している。ついでこの間まで66MHzであったものが100MHzになり133MHzになろうとしている。今後の高性能パソコンのメモリと各社の思惑ははどなっていくのか。

特集 失敗しないノートPC選び

→デスクトップと変わらない性能のノートパソコンを1台目に購入するユーザが増えている。購入前にチェックするポイントは。

特集 Outlook 2000の真実

→個人情報管理ツールとメールがいっしょになっているのはOutlookしかない。新しい2000ではPDAとのシンクロナイズでデータは生き返る。